( 1			<u> </u>	は次のとおりと	する。					
	」) ⊥≣	事の概	要							
( 2	2) 各和	重作業	の現場	責任者及びその	連絡先等					
( 2	2) 各和 会	重作業 社		責任者及びその T E L	連絡先等 防火責任者	作	業内	容	期	間
(2						作	業 内	容	期	間
( 2						作	業内	容	期	間
						作	業 内	容	期	間
						作	業 内	容	期	間
						作	業 内	容	期	間
						作	業 内	容	期	間
						作	業 内	容	期	間
						作	業 内	容	期	間
						作	業 内	容	期	間
						作	業 内	容	期	間

1101 = (122)
(3) 工事区間の位置及び構造等
下欄に平面図を記載し、工事区間を朱線で表示するとともに区画の方法、避難経路、危険物及び工事用資材の保管場所等を明示してください。なお、下欄に記載できない場合は別途、図面を添付してください。

## (4) 工事工程

くだのような工程で工事を行うかを体系的に図示してください。なお、下欄に記載できない場合は別途、工事工程表を添付してください。

2	防火官埋体制は次のとおりとする。
(1)	防火管理組織 工事部分を含む防火対象物全体の防火管理業務をどのように分担、処理するかを体系的 に図示してください。
	ア 防火管理者の統括防火責任者に対する指揮・監督事項
	イ 統括防火責任者の責務及び工事関係者に対する指揮・監督事項
	ウ 工事関係者に対する教育訓練の方法と内容
	エ 防火責任者の責務

(2) 自衛消防隊の組織	
工事部分を含む防火対象物全体における火災発生時の消火、通報、避難誘導等の自衛消	
防活動を体系的に図示してください。	
·	

## 3 機能障害を生じる消防用設備等及び避難施設等とその対策は次のとおりとする。

設備等の種類	障害箇所	障 害 の 内 容	障害を生じる期間	対策

## 4 工事に使用する引火性、爆発性物品及び可燃性工事用資材等の保管は次のとおりとする。

品	名	数	量	保	管	場	所	期	間	保	管	方	法

品	名	使	用	———— 場	所	————— 期	間	 ::::::::::::::::::::::::::::::::	火	<b>一</b>	険	防	止:	<b>対 領</b>	<del></del>
———		~	7.13	- 93	***	743	1-5					1/3		,, , , <sub>1</sub>	

6	喫煙管理及びその他の火気管理は次のとおりとする。
7	その他の防火上、避難上の措置は次のとおりとする。